



# 要 望 書

平成30年度  
群馬県予算等に関する要望について

群馬県市長会 会長 清水 聖義

## 平成30年度群馬県予算等に関する要望

日頃から都市行政の各般にわたるご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我々12市においては、住民に最も身近な基礎的自治体として、福祉、介護、医療などの社会保障サービスや道路、環境、教育など日常生活に必要な事業の実施に最大限の努力を傾注しております。

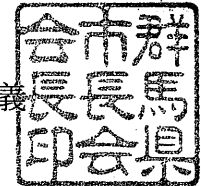
このようななか、来年度からは国民健康保険制度の県単位での広域化が始まります。地方自治体における財政事情が厳しい状況にあって、広域化による財政の安定化を図るためには、県による財政支援も含めた中心的役割が重要であります。

この要望書は、こういった県内12市の山積する諸課題や主要施策に対し、群馬県からのご支援とご協力を戴きたく取りまとめたものでありますので、何とぞ12市の置かれている実情をご理解頂き、本要望の実現について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年10月10日

群馬県市長会

会長 清水 聖



群馬県知事 大澤 正明 様

## 平成30年度群馬県予算等に関する要望事項 共通要望

### 企画部関係

- 1 世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群等に係る支援について
  - (1) 富岡製糸場保存整備事業に係る支援について〔継続〕
  - (2) 田島弥平旧宅保存整備事業に係る支援について〔継続〕
  - (3) 高山社跡保存整備事業等に係る支援について〔継続〕
  - (4) 世界遺産学校の創設について〔継続〕
  - (5) 県内絹産業遺産の保存継承について〔継続〕

### 生活文化スポーツ部関係

- 1 配偶者暴力相談支援センター運営費補助制度の創設について〔新規〕
- 2 市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金の充実について〔新規〕

### 健康福祉部関係

- 1 地域における高度医療の確保について〔継続〕
- 2 発達障害者支援事業の創設について〔継続〕
- 3 介護従事者等の確保について〔新規〕
- 4 国民健康保険制度改革について〔新規〕

### 環境森林部関係

- 1 ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の拡充について〔新規〕

### 農政部関係

- 1 鳥獣害防止対策の強化について〔継続〕
- 2 養蚕業に対する支援について〔継続〕

### **産業経済部関係**

- 1 千客万来事業の継続及び補助の拡充について〔新規〕

### **県土整備部関係**

- 1 幹線道路網等の整備について〔継続〕
- 2 地域公共交通ネットワーク構築に係る連携強化について〔継続〕
- 3 市町村乗合バス補助制度の充実について〔継続〕
- 4 急傾斜地崩壊対策事業の促進について〔継続〕
- 5 汚水処理施設の整備等について
  - (1) 公共下水道費補助の拡充について〔継続〕
  - (2) 浄化槽補助事業の継続等について〔継続〕
  - (3) 流域下水道の維持管理費及び建設費に係る県負担について〔新規〕
- 6 空家等対策事業について〔継続〕
- 7 住宅の耐震改修等に対する支援について〔継続〕

### **教育委員会関係**

- 1 教職員配置の充実について〔継続〕
- 2 教育相談体制の充実について〔継続〕
- 3 世界遺産学校の創設について〔継続〕
- 4 公立学校における帰国・外国人児童生徒に対する支援について〔新規〕
- 5 特別な支援を要する児童生徒への指導・支援の充実について〔新規〕
- 6 指定文化財保存事業費補助金の確保について〔継続〕
- 7 国指定特別天然記念物カモシカの保護について〔新規〕

## 企画部関係

### 1 世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群等に係る支援について

世界遺産に登録された富岡製糸場と絹産業遺産群等について、その価値を将来にわたって維持するため、下記事項について、特段の措置を講じること。

#### (1) 富岡製糸場保存整備事業に係る支援について〔継続〕

施設整備については、整備計画に基づき、資産の本格的な保存整備事業に着手したが、この事業は長期にわたる期間と多額な事業費が必要なことから、県費負担額及び負担率を確保すること。

#### (2) 田島弥平旧宅保存整備事業に係る支援について〔継続〕

平成25年度から25%の県費補助を受けているが、今後も引き続き25%の県補助率を確保すること。

#### (3) 高山社跡保存整備事業等に係る支援について〔継続〕

整備保存修復に関して、多額の費用が掛かるため、県補助金額の現行補助率を確実に堅持し、更なる拡充を図ること。

また、世界遺産として景観の保全維持が挙げられているにも関わらず、補助制度がなく、市が負担していることから、景観維持に係る補助制度を創設すること。

#### (4) 世界遺産学校の創設について〔継続〕

(※企画部及び教育委員会に提出)

郷土を愛する心を育むため、富岡製糸場と絹産業遺産群の構成資産を県内小中学校児童生徒が学習する「世界遺産学校」を創設すること。

#### (5) 県内絹産業遺産の保存継承について〔継続〕

県内に残る文化財指定・登録外の絹産業遺産については、民間所有・管理のものも多く、経年老朽化が進んでいることから、所有者の都合などにより失われる可能性が高いため、修復維持管理等に係る補助制度を創設し、貴重な絹産業遺産を保存継承すること。

## 生活文化スポーツ部関係

### 1 配偶者暴力相談支援センター運営費補助制度の創設について〔新規〕

配偶者暴力相談支援センター運営費については、国の補助制度により、補助基本額の5/10の補助金の交付を受け、残りの5/10は市町村の単独費となっているが、配偶者からの暴力防止対策に関する県の果たすべき責務は大きいため、市町村負担分について県補助を創設すること。

### 2 市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金の充実について〔新規〕

平成40年第83回国体について、本県開催の内々定を得たことに伴い、今後、標記補助金の対象施設として位置づけられた施設の整備を進める必要があるが、空調やトイレなど付属設備の改修について補助対象とすること。

## 健康福祉部関係

### 1 地域における高度医療の確保について〔継続〕

住民にとって身近な地域で高度医療が受けられるよう、最新技術を持つスタッフの確保や育成、最新機器の導入支援等、地域の拠点病院への支援を図ること。

### 2 発達障害者支援事業の創設について〔継続〕

発達障害については、専門家が少なく、県の相談業務も受けられるまでに相当の時間を要しており、また、早期発見や療育、人材育成等の支援体制の整備も十分ではないことから、社会全体で発達障害者を支い合える仕組みが確立できるよう、補助制度を創設すること。

### 3 介護従事者等の確保について〔新規〕

介護サービス事業所における、介護従事者の定着支援のため、県地域医療介護総合確保基金を活用し、介護従事者確保の取り組みを強化すること。

また、介護の現場では、看護職員不足の状況があることから、看護師等の人材確保及び育成について特段の措置を講じること。

#### 4 国民健康保険制度改革について〔新規〕

平成30年度の国保改革に伴い、県独自で予算化し、財政支援を行うとともに、国に対し、現状を説明し、更なる財政支援を講じるよう要請すること。

また、新制度導入に伴う経費は、市町村が負担することのないようにすること。

#### 環境森林部関係

##### 1 ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業の拡充について〔新規〕

林地残材による災害未然防止のため、低質材の搬出に係る経費について、ぐんま緑の県民基金の補助対象とすること。

#### 農政部関係

##### 1 鳥獣害防止対策の強化について〔継続〕

野生鳥獣による農作物被害は、生息環境の変化や過疎化、農業者の高齢化による農村環境の変化等により、被害地域が年々拡大するなど、深刻な状況が続いており、経済的損失にとどまらず、農業従事者の意欲の減退や耕作放棄地の増加の要因ともなっていることから、下記事項について、所要の対策を講じること。

- ① 鳥獣被害防止総合対策交付金については、必要な財源を確保するとともに、鳥獣害対策地域支援事業については、捕獲従者の活動実績が増加傾向にあることから補助率の拡充を図ること。
- ② 生息数を適正規模に減少させる管理を一層強化すること。
- ③ 捕獲鳥獣の処理については、専ら実地隊による埋設処分を行っているが、焼却処理を行う事により実地隊の負担軽減が図られることから、焼却処理を補助対象項目とするとともに、市街地に近い捕獲場所では、埋設処分は不可能なため、止刺し後の運搬に係るビニール袋等の消耗品の費用を対象項目にすること。

## 2 養蚕業に対する支援について〔継続〕

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産となったことから、絹産業文化を継承することが必要であるが、その根幹をなす養蚕業の存続が危機的な状況であることから、養蚕業の存続のため、下記事項について、必要な措置を講じること。

- ① 平成27年度から実施している養蚕農家への繭代増額補填を継続すること。
- ② 「ぐんまシルク」の品質向上には、原料である繭の品質向上が欠かせないため、養蚕に関する専門的な知識と技術を持つ専門員を養蚕農家に派遣すること。
- ③ 繭の増産及び品質向上を図るには人員確保が欠かせないため、平成26年度から大日本蚕糸会が行っている養蚕ヘルパー制度に該当しない者に対する補助金を措置すること。
- ④ 蚕糸業継承対策事業の補助金交付要件については、一部見直しがされ、基準年度の掃立量等より多少減少しても支援が受けられることとなったが、掃立量等は養蚕農家の高齢化、後継者不足に伴い自然減少する傾向にあり、協議会が一定量の事業実績を上げ続けることは困難であることから、蚕品種の指定や生産量に占める指定品種の割合によるものに見直すこと。
- ⑤ 減少する養蚕農家戸数に歯止めをかけるため、意欲ある新規養蚕就農者及び団体への補助金を拡充すること。

### **産業経済部関係**

## 1 千客万来事業の継続及び補助の拡充について〔新規〕

千客万来事業は、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録を経済効果へ繋げるための非常に有効な事業であり、市町村の観光振興に大きく貢献していることから、事業を継続するとともに、今後、東京オリンピック・パラリンピックや官営富岡製糸場創立150年など、本県をアピールする大きなチャンスが続くことから、この機会を逃すことのないよう補助を拡充すること。

また、運用面において、単年度ではできることが限られてしまうことから、複数年継続して取り組むことで効果が高まる事業についても、補助対象とすること。



## 県土整備部関係

### 1 幹線道路網等の整備について〔継続〕

幹線道路等の整備は、他都市との連携促進や都市内及び合併後の新市域内循環の円滑化、災害時における救急輸送体制の確立など、当該市のみならず群馬県全体の発展にとって、重要かつ必要不可欠なものである。このことから、道路予算を十分に確保するとともに、下記幹線道路網等の整備について、所要の対策を講じること。

- ① 国道50号前橋笠懸道路
- ② 西毛広域幹線道路

### 2 地域公共交通ネットワーク構築に係る連携強化について〔継続〕

バスや鉄道を始めとした公共交通は、当該市のみならず他市町村へ乗り入れる路線も多く、地域公共交通ネットワークの構築には、広域行政を担う県との連携した取り組みが必須であることから、下記事項について、特段の措置を講じること。

- ① 広域的な交通系ICカード導入にあたり、交通事業者や関係機関との積極的かつ、継続的な調整を行うこと。
- ② 上毛電鉄の維持存続に向け、JR線とのネットワーク化などの利便性向上策や公的支援のあり方検討も含めた特段の支援を図ること。

### 3 市町村乗合バス補助制度の充実について〔継続〕

県民の日常生活に必要な交通手段である乗合バス及び乗合タクシーについて、収支率の基準の引き下げ等、補助制度の充実を図ること。

特に、収支率による補助金停止措置規定については見直しすること。

また、車両更新の際は、費用も高額となることから、車両購入費に係る補助制度を拡充すること。

### 4 急傾斜地崩壊対策事業の促進について〔継続〕

国庫補助事業対象外の箇所でも災害の発生しやすい状況があるため、国庫補助事業対象外の箇所については、県単独による急傾斜地崩壊対策事業を実施すること。

## 5 汚水処理施設の整備等について

水源県として相応しい水環境の保全及び汚水処理人口普及率の向上を図るため、下記事項について、積極的な措置を講じること。

### (1) 公共下水道費補助の拡充について〔継続〕

生活環境施設として極めて重要な下水道の整備を促進するため、財政措置の拡充を図ること。

### (2) 浄化槽補助事業の継続等について〔継続〕

平成23年度に創設された浄化槽エコ補助金事業により、合併浄化槽への転換が図られているが、一層の転換を図るため、浄化槽エコ補助金を継続的な制度とするとともに、補助を拡充すること。

### (3) 流域下水道の維持管理費及び建設費に係る県負担について〔新規〕

流域下水道の維持管理に係る県負担及び流域下水道建設費の県負担については、引き続き支援を図ること。

## 6 空家等対策事業について〔継続〕

空家等の解消について、特定空家等に限らず、空家所有者等に対する空家の解体やリフォーム、跡地利用への補助は空家解消に効果があることから、市町村の補助施策に対する県の補助制度を創設すること。

## 7 住宅の耐震改修等に対する支援について〔継続〕

全国各地で大規模地震が頻発している中、これまで以上に住宅の耐震化を促進する必要があることから、群馬県木造住宅耐震改修支援事業費補助金の限度額を引き上げるとともに、耐震基準に満たない木造住宅の建替え・部分改修を促進するための補助金を創設すること。

## **教育委員会関係**

### **1 教職員配置の充実について〔継続〕**

県による特配教員の配置により、小学校第5学年においても35人学級の編制が可能となったが、小学校全ての学年で実施すること。

### **2 教育相談体制の充実について〔継続〕**

小学校における教育相談体制の充実を図り、その後の継続的な指導や問題行動等の未然防止及び早期解決を推進するため、小学校におけるスクールカウンセラーの勤務日数を拡充すること。

### **3 世界遺産学校の創設について〔継続〕**

(※企画部及び教育委員会に提出)

郷土を愛する心を育むため、富岡製糸場と絹産業遺産群の構成資産を県内小中学校児童生徒が学習する「世界遺産学校」を創設すること。

### **4 公立学校における帰国・外国人児童生徒に対する支援について〔新規〕**

外国人児童生徒数の増加と言語が多様化している現状から、日本語を全く理解していない児童生徒を指導する初期指導教室（プレクラス）の指導体制（日本語指導助手等）の充実が課題であることから、今後も帰国・外国人児童生徒受入促進事業を活用すること。

### **5 特別な支援を要する児童生徒への指導・支援の充実について〔新規〕**

特別支援学級の児童・生徒数が増加していることから、特別な支援を要する児童生徒への指導・支援にあたる職員を配置するとともに、市で任用している教育支援員の賃金に対する補助制度を創設すること。

### **6 指定文化財保存事業費補助金の確保について〔継続〕**

指定文化財の保存事業費補助金について、所有者負担の軽減と安定化を図るための継続的な予算確保を図ること。

## 7 国指定特別天然記念物カモシカの保護について〔新規〕

カモシカの保護件数が近年平野部で急速に増えつつあるが、市町村境に拘束されない特別天然記念物であることから、県内各地域で保護対応できる部署を設けること。